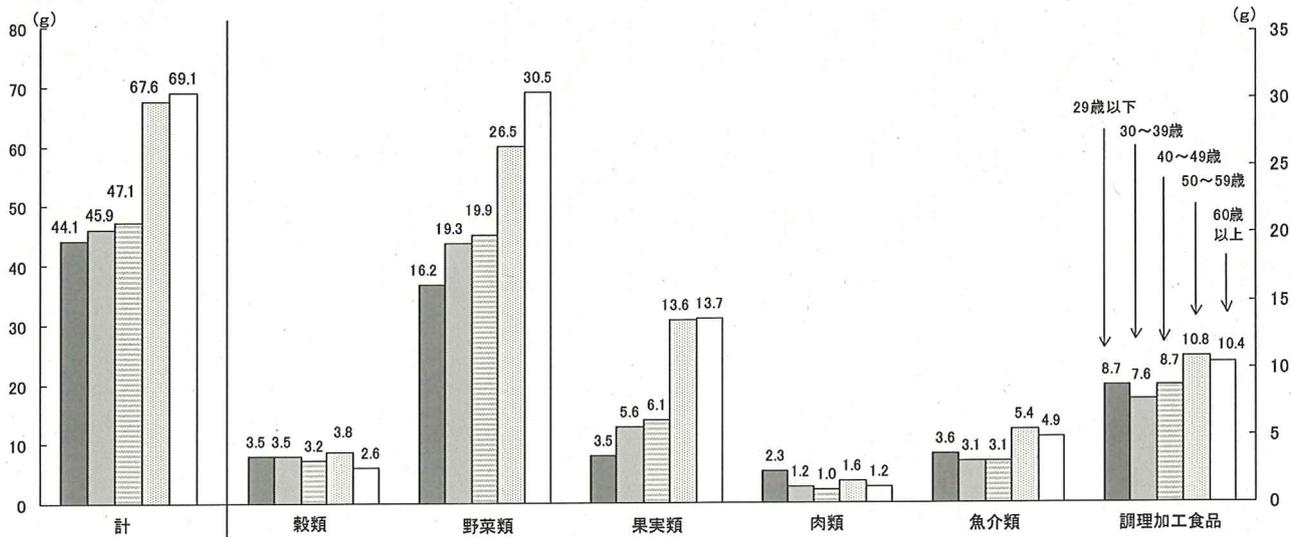


(3) 食事管理者の年齢別の食品ロス量と食品ロス率

ア 食事管理者の年齢別の世帯食における1人1日当たりの食品ロス量は、食事管理者の年齢が高まるにつれて、食品使用量の増加に伴い多くなっている。

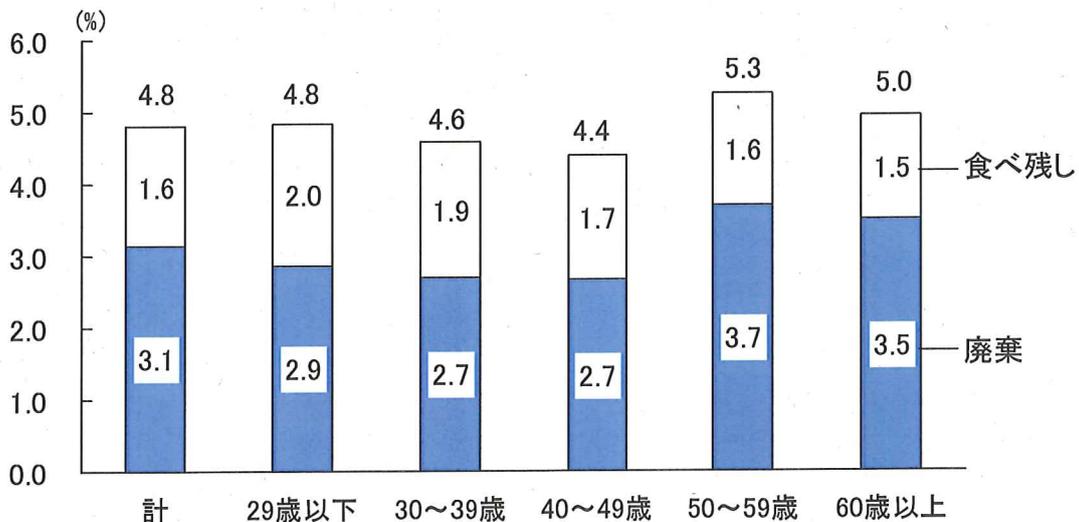
特に、野菜類、果実類は食事管理者の年齢が高くなるにつれて食品使用量の増加が顕著である。

図7 食品類別にみた食事管理者の年齢別の食品ロス量（世帯食1人1日当たり）



イ 食事管理者の年齢別に食品ロス率をみると、食事管理者の年齢が高いほど一般的にロス率の高い野菜類や果実類、魚介類の使用が多いことから50~59歳、60歳以上階層で高くなっている。

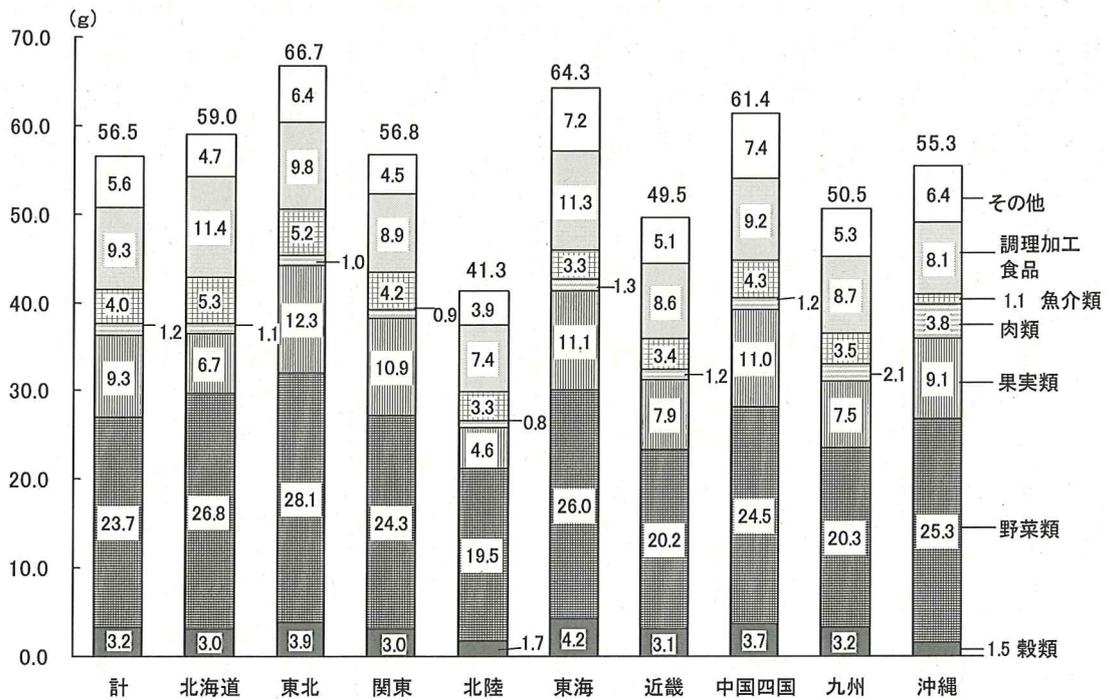
図8 食事管理者の年齢別の食品ロス率



(4) 地域別の食品ロス量と食品ロス率

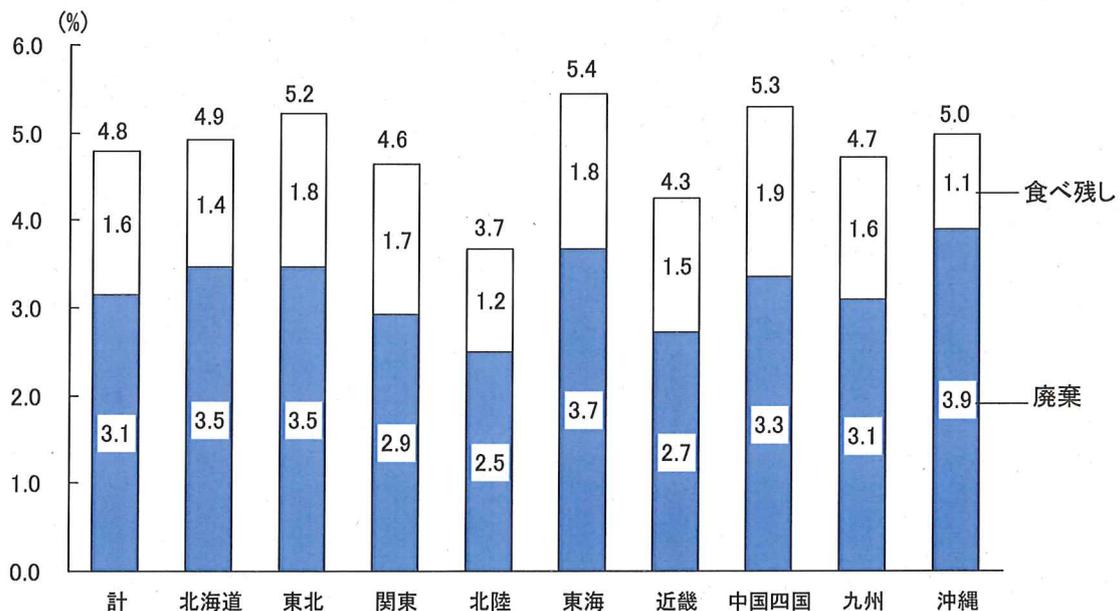
ア 地域別に1人1日当たりの食品ロス量をみると、東北が66.7gと最も多く、北陸が41.3gと最も少なかった。

図9 地域別の食品ロス量（世帯食1人1日当たり）



イ 地域別に食品ロス率をみると、東海、中国四国、東北で、野菜及び果実類の廃棄や食べ残し等が多くなっており、5.4%、5.3%、5.2%と高く、北陸、近畿ではそれぞれ3.7%、4.3%と低かった。

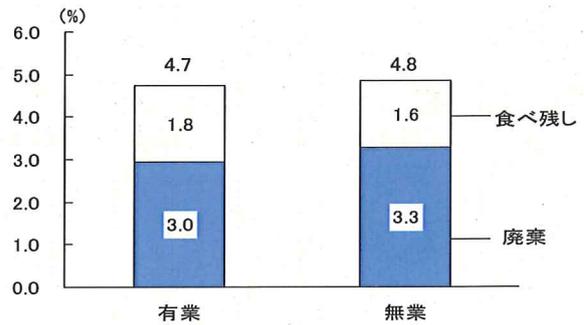
図10 地域別にみた食品ロス率



(5) 食事管理者の有業無業別の食品ロス率

食事管理者の有業無業別に食品ロス率をみると、食事管理者が有業の世帯は4.7%、食事管理者が無業の世帯は4.8%で、無業世帯の食品ロス率がわずかに高かったが、顕著な差は見られなかった。

図11 食事管理者の有業無業別にみた食品ロス率



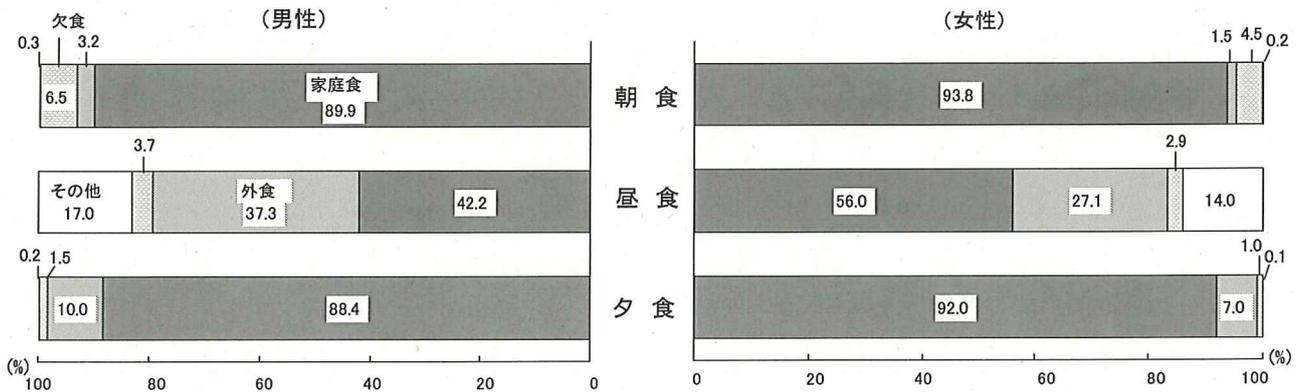
3 世帯における食事の状況

(1) 世帯員の食事状況

ア 調査期間1週間の世帯員の食事状況についてみると、朝食、夕食ともに家庭食（家で摂る食事）の割合は9割であった。

また、昼食では、家庭食は男性が42.2%、女性が56.0%であり、外食や、給食などによるその他の食事が朝食、夕食に比べ多くなっている。

図12 世帯員の食事状況



イ 調査期間1週間の世帯員の朝食の欠食割合をみると、男性が6.5%、女性が4.5%で、全体では5.5%であった。これを年齢別にみると、男女ともに20~29歳で最も高く、男性が18.5%、女性が16.0%であった。

図13 世帯員年齢別の朝食の欠食割合

